

奈良大宮ロータリークラブ

Club Weekly Bulletin



- 創立：昭和54年1月23日
- 例会：毎週火曜日17:30
- 事務所：奈良市大宮町6丁目3-7 中室ビル3F
電話/FAX 0742-33-8583
- 例会場：奈良市高畑町1096番地
奈良ホテル本館 電話0742-26-3300(代)
- 会長：中村信清 ■副会長：多田実 幹事：高野治

発行日 / 2015年10月20日
2015-2016/14

Vol.37

No. 1760

hp:http://naraomiya-rc.jp
E-mail: info@naraomiya-rc.jp

2015-16年度当クラブテーマ

『和と飛躍』



国際ロータリー第2650地区

ガバナー 中澤 忠嗣

「クラブに「個性」と
「憧れ」を！」



四つのテスト

1. 真実かどうか
2. みんなに公平か
3. 好意と友情を深めるか
4. みんなのためになるかどうか

本日のお客様

・柳澤 育代 様 (奈良RC)

会長挨拶

最近めっきり寒くなりました。皆様お体気を付けて風邪などひかないように頑張ってください。
本日は彫刻家の湯川先生をお迎えしております。一つ、よろしくお願ひします。

委員会報告

出席委員会：辻本委員長

今年度二回目の出席率100%になりましたけれど、前々回、前回、今回と70%、80%と本来の例会の出席率がかなり悪うございますので、ホーム例会出席もよろしくお願ひ致します。

社会奉仕委員会：野末副委員長

10月8日に行いました献血協力の結果をご報告させていただきます。当クラブより御出席頂きましたメンバーの方は18名、社員等の方13名、合計31名でございました。因みに当日の奈良赤十字献血ルームの方は、総受付数が67、採決された方が60名と言う事になっております。実は景品を100準備しており、足りないかもという心配をしておったんですが、結果としては、余って翌日に繰り越すという結果になりました。次回以降事前に告知、または個別に御願ひ、という形で100持って行ったら余る事のないように頑張りますので、是非御協力よろしくお願ひ致します。

親睦活動委員会：河野委員

・先日10月7日(水) 県下RCの親睦ゴルフコンペがグランデージG.C. でありまして、奈良県としてロータリアン115名の参加があり、当クラブからは9名の方が参加して頂き、結果として、ジュニアの部で3位に中奥さんが入賞されました。そして2位が私(河野会員)でした。今回は団体戦がございませんでして、ちょっと参加人数の足りなかつ

例会プログラム

第15回10月20日

通算1760回

1. 開会の点鐘
2. ソング「もみじ」
3. お客様の紹介
4. 会務報告
5. 卓話
米山奨学生 劉 瀟 様
6. 閉会の点鐘

例会状況報告

第14回 10月13日
通算1759回

◎会員総数	72名
◎出席義務者	46名
◎出席規定免除者(a)	0名
◎出席規定免除者(b)	26名
◎本日出席	51名
◎本日欠席	14名
◎本日出席率	78.46%

第12回 9月29日
通算1757回の修正

◎欠席者	12名
◎免除者の欠席者	10名
◎欠席者の補填者	12名
◎免除者の補填者	6名
◎出席率	100%

たクラブさんがあったと思いますが、また来年は優勝できるように頑張ったいと思います。

・明後日15日（木）第1回の親睦ゴルフを開催する予定です。参加のかたは9：20までにあすかC.C.にお集り頂きますようお願い致します。

会報・IT委員会：武中副委員長

会報の訂正のお知らせです。ニコニコの北河原さんの欄ですが、「2610地区」となっております所は、「2510地区」の誤りでございますので、訂正を宜しくお願い致します。

姉妹・友好担当委員会：谷川委員長

10月27日の友好クラブであります東京恵比寿ロータリークラブの創立20周年記念例会に多数登録いただき有難うございます。会長以下19名で行く予定になっております。本日例会が終了してから、この会場で簡単にスケジュール等の説明をしたいと思っておりますので、出席下さる方は、5分程で終わりますので、残って頂きますようお願い致します。

プログラム委員会：清岡副委員長

次回10月20日卓話のご紹介をさせていただきます。講師と致しまして、米山奨学生 劉 瀟 さんをお迎えし、「来日17年を振り返って」という演題でお話頂きます。内容と致しましては、1998年の4月に来日されて、はや17年。鹿児島、岩手、青森、そして現在はこの奈良に住まわれております。奈良先端科学技術大学院大学ではバイオサイエンスの研究をなされています。隣国、日本と中国と未来への懸け橋となるべく、米山奨学生としてこれからの益々のご活躍を希望しております。そんな17年間の軌跡と米山奨学生としてのこれからの夢やビジョンを、ご披露いただきます。どうぞご期待ください。

幹事報告

・本日状差しの中に入れて頂きましたが、先月9月3日に事務局を引越し致しまして、その後いろいろとインターネットや電話の回線やそれ以外の収納関係等の整備を進めております。その中で、この度、FAX番号を別にとることに致しました。10月22日より0742-33-8600に変更致しますので宜しくお願い致します。

・FAX番号を変更するという事でNTTさんに行きまして、マイナンバー制度のセミナーを10月23日に開催されるのでよろしければご参加下さいというお誘いを受けました。マイナンバー制度のことがあまりよくわかっていない、特にセキュリティの問題等、ご興味がある方がおられましたら、私の方まで言って頂きたいと思っております。

・地区の方から「鬼怒川水害対策支援決定」のご報告が来ております。地区の方に特別会計として「災害対策基金」というのがございます。平成27年6月末現在、約6000万円ほど残高があるということですが、そちらから200万円、国際ロータリー第2820地区（茨城県）ガバナー事務所に送金する事に決定したそうです。メンバー数で割りますと450円になるそうです。

卓話

彫刻家 湯川隆様 ” ドサ回りというやり方 ”

皆さん、こんばんは。本日の題目についてですが、お手元にお配りしております、私のパンフレットの略歴を参考に、私の彫刻家としての歩みの中からお聴き取りしていただければ幸いです。略歴の方は2000年以降からとなっておりますが、その前を少し。

私はこちらのクラブの弓場さんと同じ多摩美術大学の出身です。学生時代、ヨーロッパのゴシック彫刻を研究をしていましたので、3年の夏休みを利用して2か月程ヨーロッパを遊学してまいりました。これが初の海外です。そのゴシック様式の建物を同時代的に見て

回りたくて、フランスのパリ、シャルトルを中心に研究後、南下してスペイン、イタリア、そしてドイツへと昇って、オランダまで行きました。その結果、同じゴシック様式でもその国の文化・風土によって異なることがわかりました。その後イタリア彫刻に興味を持ち、毎年遊学することになります。

私たち日本の彫刻史は 明治以降、ロダンをはじめとしたフランス彫刻の影響を受け、近代彫刻が始まります。その後イタリア彫刻が入ってきて現代彫刻へと移り変わってきますが、そういった彫刻史の中で私自身も学んできたわけです。

少し話がずれますが、私自身はロダンから彫刻への興味が始まり、ゴシック様式に興味を持ち、



イタリア、日本と興味が移行していったのですが、日本の話は後にして、そもそも彫刻にというよりフランスに興味があつたのだと思います。そういう視点でものを見ていくと、すべてがフランスからとなり、ワインといえばボルドー。となりあまり他を冷静に見ていなかったことに気づきます。先にゴシック様式を同時代的に見て回ったと言いましたが、ゴシック様式における彫刻はそれ自体が壁の一部となって建物を構成し神に近づくべき上に上に伸びています。しかし、スペイン・イタリアでは本来一体化しているはずの彫刻が少し前にでているのです。人間的というか、なんだかゴシックの後に来るルネッサンスという人間回帰がイタリアから始まるのがわかる気がしました。そしてその国の風土との関係。ロダンから彫刻への興味が始まったにも関わらず離れていったのもそれに関係があります。フランスゴシック彫刻・ロダン、ルネッサンス・イタリア彫刻の違いにその答えがありました。鉛色の空が特徴のパリの天気、そして青空のローマ。光の少ないパリでは球体のような形を作ろうとするとまず光の方向を考え、角を落としながら丸くしていく。しかしローマのように光の強いところでははじめから丸っぽい形をよういして必要な面を作っていく。これによって生まれるものはこうであるべきから、こうであってもいいのではないかという発想の自由です。というわけで、私は実は本来フランス的な発想の持ち主ではなくイタリア的であることに気づきました。

さて、大学院を修了してから、美術館の学芸員を3年ほど経験し、造る側と研究・教育の両方の立場（マネージメントも）から彫刻を学び直して、自分の作品の制作を続けてきましたが、造っても、造っても何か足りない感じが残っていました。何か自分の中にあるのは分かっているもそれが何なのかがわからず年月が過ぎていきます。イタリアへは毎年観光ビザの3か月を目どに行っては制作していましたが、日本からのプランを持って行ってブロンズ・大理石にするといった状態だったので、自分の中の何かの答えを出すにいたりませんでした。そこで、39歳の時に、妻に頼んで2年間自由にしてもらい、何もプランを持たないままイタリア留学に入りました。ただ、ビザの事がありますので、学生ビザを取るために、イタリア人の友人達が教えているイタリア国立美術学院に入学することになりました。久しぶりの学生生活は多くの外国の留学生と共に、色々な話もできてそれはとても楽しいものでした。学院には二十歳前後から60歳過ぎた学生もいて毎日のように夜8時ころから夜中まで飲みまわっていましたが、朝はちゃんと起きて仕事場に入ります。今思うと良くまあ続けられたものだと思います。そんな2年間遊んでばかりいたわけでもなく、しっかり制作し、帰国前には私が住んでいたトスカーナ州ルッカ県のピエトラサンタ市立のギャラリーで日本大使館後援で、個展をしていただくことにもなりました。

（ピエトラサンタ個展の写真）

そんな中で、一貫して考えていたことがあります。それは海外に移り住んだことのある人なら必ず一度は考えること。日本人としてのアイデンティティ。学院の教授たちによく言われたことがその切っ掛けです。『我々は歌麿や北斎からいろんな物を学んだが、お前は我々に何を教えるのかと』聞かれたとき何を、、、その前に自分にとっての日本文化とは何なんなのかが、わかりませんでした。それは帰国後も続きました。日本に帰って来て大理石を彫ろうと思えば出来たのですが、日本文化を再度見直し考えた結果、土と木を用いて作品を造ることを思い立ちました。それが今日の作品になります。

（参考作品写真）

これから本題に入ります。イタリア留学後、同じ釜の飯を食べた他国の作家たちもそれぞれの国に帰って作家活動を始めていました。そして彼らを頼ってイタリア以外の国へ渡り制作・発表を始めることになります。それから年の半分近くを海外で過ごすようになりましたが、良く人にいいですねっと言われます。そんな時私は冗談まじりにドサ回っているだけですと言います。芸術で生計を立てることは極めて難しい。まして彫刻ともなると、とんでもないです。仕事がない。展覧会をやってもそうそう売れるものでもありません。特に日本では作品が良い悪い、好き嫌いではなく、まず有名かどうかで判断されます。初めから有名であるわけがありませんから、その壁は乗り越えられない。ある種のシステムの中でひとつひとつ階段を上って行かない限りそういうチャンスは少ない。昇ったころにはそれなりの歳にもなっていて、それでも売れない。これが現実です。しかし、本当に仕事がない、売れないのでしょうか!?ただ、目の前に、近くにチャンスがないだけなんではないでしょうか。私の現実から言えば、海外での制作・発表による諸海外での反応はアイデンティティを考え求め造ってきた作品を受け入れられ現在に至っております。特に南米コロンビア、最近では台湾です。そもそも何故コロンビアへ行ったかという、9年前にイタリアにいたコロンビア人彫刻家と東京で2人展を行った際、当時の駐日コロンビア大使がみえて、この展覧会がコロンビアで出来ないかとおはなしを頂き、日本大使館後援の下でコロンビア・メデジンで展覧会をしたのが始まりでした。私たちの展覧会が評判を生み、他の都市の画廊、美術館から声がかかり、地球の裏側からきた日本人作家を面白がってくれました。

（コロンビア写真）

それから基本毎年7～9月の間をコロンビアで制作・発表しています。しかし、年の半分近くを海外でというのは渡航費用だけでもそれなりにかかります。それでも行くのは仕事があるからです。私の作品を待っていて下さる方々がいるからです。結果としてなんとか生活できています。私の周りの作家はそれをうらやましますが、誰としてまず自分で負担してまで冒険をしチャンスを見つけようとはしません。

それで仕事がないと言います。私は日本にチャンスがないだけで、世界のどこかには必ずあると信じています。そしてそのチャンスは待つのではなく自分から探し求めて見つかるものだと信じています。そして、それによって得られた今日、日本の国内彫刻のシステムによらない私を見てくださる方々が確実に増えています。今日ここに私のような若輩者が皆様の前に呼んで頂いたのが何よりの証拠だと思います。ご清聴ありがとうございました。

(2014~2015) 奈良大宮ロータリークラブ第1回親睦ゴルフコンペ

平成27年10月15日(木)

場所 飛鳥カンツリー倶楽部

参加者

潮田悦男、藤井正勝、小林一士、石野捨雄、谷川千代則、市田富久夫、武藤廣茂、
増井義久、中奥雅巳、國原正記、中條章夫、西口栄一、山口尚紀、河野里志



優勝：小林一士 前年度福本杯取りきり戦優勝（マンスリー）：小林一士



準優勝：山口尚紀



3位：中條章夫

米山奨学生 劉瀟さんとの親睦ハイキング

(日時) 平成27年10月11日(日) 柳生街道(滝坂の道)コース
(参加者) 劉瀟さん・飯田・麴谷・小池・植倉・橋本・高野・楠原

劉瀟さんと奈良大宮ロータリークラブメンバー7名、総勢8名
あいにくの曇り空でしたが、秋の空気を満喫し約12kmの山歩きとなりました。
その後、場所をかえて打ち上げ懇親会を開き、親睦を深めました。



高野 治 君	湯川様、本日の卓話、宜しくお願いいたします。
武藤廣茂 君	この度は、又御心配をお掛けし申し訳ございません。お蔭様で、快方に向っております。さすがに今年3度目の入院になると病院ではチョットした顔です。残念な事ですが・・・
谷川千代則君	ニコニコ協力
辻本和弘 君	ニコニコ協力
市田富久夫君	ニコニコ協力
河野里志 君	ニコニコ協力
野末勝宏 君	ニコニコ協力
野崎隆男 君	ニコニコ協力

例会変更のお知らせ

11 月

■五條ロータリークラブ■

- ・ 11月11日（水）・・・11月7日のIMに変更。
- ※ビジター受付：11月11日（水）12：00-12：30まで南都銀行 五条支店にて行います。
- ・ 11月25日（水）・・・11月28日（土）親睦旅行に変更。
- ※ビジター受付：11月25日（水）12：00-12：30まで南都銀行 五条支店にて行います。

■あすかロータリークラブ■

- ・ 11月19日（木）・・・夜間例会の為、18：00～に変更。
- ※ビジター受付：11月19日（木）12：00-12：30まで橿原ロイヤルホテルフロント横にて行います。

■やまと西和ロータリークラブ■

- ・ 11月3日（火）・・・定款第6条第1節(C)により、休会。
- ※ビジター受付：行いません。
- ・ 11月10日（火）・・・11月7日（土）IMに変更。
- ※ビジター受付：11月10日（火）12：00-12：30までまさごビル 1Fにて行います。
- ・ 11月24日（火）・・・王寺 百楽（りーべる王寺地下1階）に場所変更。
- ※ビジター受付：通常例会として、11月24日（火）12：45分 王寺 百楽にて行います。

■奈良西ロータリークラブ■

- ・ 11月12日（木）・・・定款第6条第1節(C)により、休会。
- ※ビジター受付：行いません。

次回の例会

2015年10月27日(火) 休会

2015年11月3日(火・祝日) 休会

2015年11月10日(火)

クラブ討論会（ロータリー財団担当）

ロータリー財団月間卓話

卓話 国際ロータリー第2650地区 財団資金推進委員会

委員 岡島三千男 様（大和郡山ロータリークラブ所属）